

Press Release

*当リリースは、2月22日にフォルシアがフランスで発表した英文リリースの抄訳です

2021年3月24日



- **コックピット・オブ・ザ・フューチャーとサステイナブル・モビリティという2つの技術戦略により、強力で持続可能な高収益成長を遂げる可能性を確かなものに**
 - 2022年のすべての目標を確定
 - 2020～2025年における年間売上高の平均アウトパフォーマンスは+500 ベースポイント (bps) で、2025年の売上高は250億ユーロ弱
 - 5年間 (2021～2025年) の累積ネットキャッシュフローは40億ユーロ超
- **ゼロエミッション水素ソリューションにおける独自のポジションにより、フォルシアは2025年に5億ユーロ、2030年に35億ユーロ超の売上高 (シンピオを100%含む) を達成し、水素モビリティのリーダーに**
- **強い信念と価値観が、2030年までのカーボンニュートラルの実現をはじめとしたフォルシアのサステイナブル・イニシアチブを推進**
- **フォルシアの株式保有構造が今後変わること、新しい機会がもたらされる**

フォルシアは、2月22日に開催されたキャピタルマーケットデーにおいて、記録的な受注量とイノベーションにより、全ビジネスグループにおける強力かつ収益性の高い成長を遂げる可能性を示しました。フォルシアは、グループ全体と各ビジネスグループにおける2022年の財務目標と2025年のビジョンについて詳細を説明しました。また、ゼロエミッション水素ソリューションとグループのESG戦略、なかでもカーボンニュートラル・プログラムに重点を置いていることを強調しました。

パトリック・コラーCEOは、次のように述べました。「現在、経済が危機的状況にあるにもかかわらず、フォルシアはコックピット・オブ・ザ・フューチャーとサステイナブル・モビリティに重点を置いた戦略を展開し続けてきました。最高峰のエコシステムに支えられたイノベーションへ積極的に投資することで、フォルシアの各ビジネスグループは1車両あたりの搭載量と市場シェアを増やすことができるでしょう。全体として、当グループは今後の5年間、市場を力強くアウトパフォームします。そして、特に急成長しているセグメント (プレミアム、電気自動車、商用車) や中国市場において良いポジションにあります。水素モビリティが急速に勢いを増しているなか、当グループは燃料電池テクノロジーに投資することで、水素貯蔵システムと燃料電池スタックシステムの両分野を、ミシュランとの合併会社であるシンピオを通じて牽引することができるでしょう。フォルシア株をステランティスの株主に分配するというステランティスの決定により、フォルシアの浮動株比率は増大し、資本市場におけるプロフィールが改善されるとともに、独立した企業として事業戦略を打ち出せるようになります。フォルシアの歴史における新しい章が始まろうとしているいま、私たちは意欲的でサステイナブルな未来を見据えています。」

グループ全体	2022 年目標	2025 年ビジョン	2021~2025 年
売上高	185 億ユーロ以上	245 億ユーロ以上	オーガニック年平均成長率 +約 11% 平均アウトパフォーマンス +500 bps 超
営業利益率	売上高の 8%	売上高の 8%超	
ネットキャッシュフロー	売上高の 4%	売上高の 4.5%弱	5 年間の累積 40 億ユーロ超

シーティング：売上高が力強く伸び、市場をアウトパフォーム

シーティングビジネスグループは、2020 年から 2025 年にかけて +600 bps で市場を力強くアウトパフォームする見込みです。これは、乗員体験やモジュール方式、サステナビリティを向上するためのイノベーションと 1 車両あたりの搭載量の増加によって可能になります。フォルシアのシート・フォー・ザ・プラネットは、2030 年に CO₂ の排出量を 30%削減し、重量を 15%削減します。シーティングの売上高は 2020 年から 2025 年にかけて中国と北米で倍増し、両地域で市場を +1,000 bps 以上アウトパフォームする見込みです。優れたオペレーションと最適な製品ポートフォリオによる営業利益率の向上が見込まれ、2025 年の目標は 7.5%以上です。

インテリア：成長の加速と継続的な業績の向上

インテリアビジネスグループは、SAS Interior Modules の統合と、フォルシアが市場を牽引しているコア製品ラインへの注力により、2020 年に急速に変化しました。また、同ビジネスグループは、重量やエネルギー、CO₂ の大幅な削減につながる、自然由来のリサイクル可能素材の開発を促進しました。急成長している高価格帯のプレミアムセグメント、電気自動車市場セグメント、および北米で、大きく成長する見込みです。インテリアビジネスグループは、2020 年から 2025 年にかけて +400 bps で市場をアウトパフォームします。優れたオペレーションとプロセスによって競争力が向上し、2025 年には営業利益率が 7.5%以上になる見込みです。

クラリオン エレクトロニクス：改善は軌道に乗り、2025 年の目標を確定

クラリオン エレクトロニクスの統合は現在完了しており、2020 年には 8000 万ユーロ以上のコスト削減、25 億ユーロの受注高を達成しました（目標は 21 億ユーロ）。コックピット・オブ・ザ・フューチャー実現の重要な担い手であるクラリオン エレクトロニクスが注力しているのは、コックピットエレクトロニクス、ディスプレイテクノロジー、先進運転支援システムの 3 つの製品ラインです。これらの各製品ラインにおいて、コア製品を有しているクラリオン エレクトロニクスは良いポジションにあり、成長中の収益性が良い主要セグメントで急速に拡大しています。2025 年には、25 億ユーロの売上高と、バランスの取れた製品ライン構成、そして多様性のある強固な顧客層を実現する予定です。2025 年における営業利益率は、グループ平均の 7.5%に接近する見込みです。

クリーンモビリティ：短期・中期・長期における収益性拡大のための 3 つの製品ライン

パワートレイン電動化の勢いは増し続けており、2030 年にはフル EV（電動のバッテリーと燃料電池）が 30%を占めるとフォルシアは予測しています。クリーンモビリティは、乗用車の超低排出化におけるフォルシアの主導的な立ち地位を強化してまいります。この技術は、特に急成長しているハイブリッドカー市場において、1 車両あたりの搭載量の増加を促します。商用車・産業用車両市場では、新しい規制により 2030 年までに 1 車両あたりの搭載量が大幅に増加し、フォルシアは市場シェアを拡大して売上高は 2 倍以上になる見込みです。超低排出化によってもたらされるキャッシュは、水素技術におけるフォルシアの成長を促します。

水素モビリティは、2030 年に 170 億ユーロ（車両 250 万台）の市場になる見込みです。フォルシアは、ミシュランとの合併会社であるシンピオの存在により、水素貯蔵・分配システムと燃料電池スタック・燃料電池システムの各分野において

市場を牽引できる独自のポジションにあります。フォルシアは 2021 年の受注高の目標を 5 億ユーロに設定しており、売上高は 2022 年から勢い良く伸び始めて 2025 年には 5 億ユーロに達し、2030 年には 35 億ユーロを超える見込みです。

ビジネスグループ	シーティング		インテリア		クリーンモビリティ		クラリオンエレクトロニクス	
	2022 年	2025 年	2022 年	2025 年	2022 年	2025 年	2022 年	2025 年
売上高	75 億ユーロ	95 億ユーロ超	55 億ユーロ	65 億ユーロ超	45 億ユーロ	58 億ユーロ	14 億ユーロ	25 億ユーロ
営業利益率	7%以上	7.5%以上	7%以上	7.5%以上	11.5%	11.5%以上	6%	7.5%以上

信念と価値観がサステナビリティ・イニシアチブを推進

フォルシアには強い信念と価値観があり、それらがカーボンニュートラルとジェンダーの多様性を 2 大優先事項とするサステナビリティ・イニシアチブを推進しています。当グループは、2025 年までに管理職と専門職における女性比率 30%、上位 300 名に占める女性比率 24%をめざしています。これは、女性の採用やトレーニング、能力開発に重点を置くことで達成されます。当グループのカーボンニュートラル・プログラムには、SBTi に認定された 2 つの重要な目標が存在します。それは、2025 年までに当グループのオペレーションにおけるカーボンニュートラルを達成し、CO₂ を 920 キロトン削減することです。2030 年までに、全ビジネスグループにおける製品からの CO₂ 排出量を削減することで、さらに 4 メガトンの CO₂ を削減します。フォルシアは、バリューチェーン全体で取り組み、また、シュナイダーエレクトリックとのパートナーシップによる協力を仰ぎながら、これらの大きな目標を達成しようとしています。

収益性拡大をキャッシュフローに変換

ネットキャッシュフローによる収入は、特に収益性の向上、設備投資の選択、運転資本の改善によって増加し、2022 年には売上高の 4%、2025 年には 4.5%付近に達する見込みです。当グループ全体で 2025 年までに 40 億ユーロを超える累積ネットキャッシュフローを生み出します。フォルシアは、ネットキャッシュフローを配当と株式買い戻しに 40%、レバレッジの解消とボルトオン買収に 60%配分する戦略を確定しています。当グループの健全な財務構造と継続的な債務削減により、2022 年以降の年末における EBITDA に対する純負債の比率は約 1 倍になる見込みです。

フォルシアの株式保有構造における今後の変更

FCA と PSA の合併の結果、新たに設立されたステランティスは、フォルシアの資本の約 39%に相当するフォルシア株をステランティスの株主に分配する意向です。ステランティスは、この分配の承認を得るため、2021 年 3 月 8 日に臨時総会を開催することを発表しました。これは、フォルシアにとって新しい章の幕開けとなります。浮動株比率は約 85%に増加し、資本市場におけるプロフィールが改善されるとともに、独立した企業として事業戦略を打ち出せるようになります。フォルシアの今後の発展に従業員が関与できるよう、当グループはスピノフ後に従業員の株式保有計画を開始します。これは、株式資本の最大 2%まで自社株を買うことができるプログラムを通じた非希薄化計画であり、15 ヶ国における従業員の約 90%が利用可能になります。

市況の想定

フォルシアは、世界の自動車生産台数が 2022 年に 8,230 万台、2025 年に 9,090 万台に達する（2020 年から 2025 年までの年間平均成長率は 5.2%）と予測しています。

■ フォルシア・ジャパンメディア問い合わせ先

篠塚 郁恵

Tel: 080 6676 7459

ikue.shinozuka@faurecia.com

坂井 木綿子

Tel: 080 1003 3839

yuko.sakai@faurecia.com

フォルシアについて

フォルシアは 1997 年に誕生し、自動車業界において世界的なメジャープレイヤーとなるまでに成長しました。世界 35 カ国に 266 の事業所と 39 の開発拠点をもち、114,000 人の従業員を擁しています。自動車用シート、インテリアシステム、クラリオンエレクトロニクス、そしてクリーンモビリティの 4 つの事業分野で世界をけん引しています。コックピット・オブ・ザ・フューチャーとサステイナブル・モビリティという成長戦略を元に技術の開発に注力しています。2020 年度のグループ売上高は 147 億ユーロでした。フォルシアはユーロネクスト・パリ証券取引所に上場し、CAC Next 20 構成銘柄に名を連ねています。詳しい情報は、www.faurecia.com をご覧ください。